



水田の後作と裏作の飼料作り

寒冷地

一 水田後作には次のものを

東北地方の北部では降雪も早く困難ですが、東北の南部北陸では、かぶ、レープ、C・Oの苗仕立移植によって、水田後作でも相当量の飼料生産が期待できます。かぶの移植は葉数の多い下総かぶが有利です。

二 水田裏作には次のものを

寒冷地の水田裏作として、どこでも安全に作付されるものはライ麦とレープです。さらに短年生牧草のフィールドブROOMグラスも有望です。従来の紫雲英安全地帯では、ライ麦、レープ、青刈えんばく、イタリアンライグラス、Hワンライグラス、コンモンベッチ、ヘヤリーベッチ、かぶ、ルタバガ等が適します。

三 水田裏作の飼料増産の力キ

※播種はなるべく早く、稲刈取後の耕起栽培がよい。
 ※耕起の出来ない時は立毛中播ぎを。中播は落水後二〜三日で播種、稲刈取後直ちに速効性肥料の追肥を行ない株張りをよくします。

※麦類や、ライグラスにはベッチ類、または耐寒性えんどうオーストリアンの混播を。(播種量七頁下段参照)
 ※菌核病による冬枯れ、雪グサレ防止のため、降雪直前か、積雪一〇センチまでに消石灰二〇〜三〇キか、水銀粉剤三キ程度の散布が必要。

※雪が少なく、寒さのきびしい地帯では、まめ科、いね科作物が草丈三〇センチ近くも伸びるような時には、なるべく早くローラーで鎮圧し根の伸長を促すことが必要。
 ※肥料は窒素過多をさけ、磷酸と加里分を充分に。
 ※冬期間の凍上のあった場合は融雪早々に踏みつけ(麦踏みのように)を行なって根の定着を促すこと。
 ※春の追肥は早く、できれば液肥でやること。

暖地

一 どんな作物がよいか

○暖かい時期に播けるもの(発芽最低温度六〜一〇度)
 デントコーン、ひまわり、スーダングラス、ソルゴー、

カウピー、青刈大豆、ビート。

○冷涼になってから播くもの(発芽最低温度一〜五度)
 えんどう、ベッチ、レンゲ、えん麦、ライ麦、ライグラス類、クロバー類、その他牧草類、ルタバガ、かぶ、レープ、C・O、ケール等。

二 水田裏作飼料増産のためにはイタリアンライグラスを!!

※播種はなるべく早く、九月中がよい。一月に入っては減収、稲の刈り取りが遅れる時は中播ぎによる早期播種を。

※湿りのある土地がよい。(灌水栽培は多収への道)。

※不整地まきよりも耕起まきは倍の収量が得られる。

※播幅は広い方が多収(二〜三センチおきに排水溝をあける)。

※ベッチ、えん麦、レンゲとの混播がよい。まめ科混播は跡地耕起も容易。

※多肥が必要。基肥に堆肥、窒素、加里の半分以上は追肥とする。(一〇キ当り二〇キ平均(五〜六回刈)とっている岡山県の例での施肥量は牛尿化学肥料の合計成分量で窒素九〇キ、磷酸九五キ、加里九〇キという多肥栽培です。)

※早期収量を望むときは厚まき(四キ)、普通一〜二キ。

※中播の場合は稲刈後直ちに追肥し、立直りを早く。

※刈取高さは五センチ程度が再生よく多収。

※出穂を始めると急に蛋白質含量が低下しますから早刈りを。

※多収を得るため、葉茎の巨大なマンモス・イタリアンの利用が得。

トピック

種子の貯蔵と高温多湿
 種子は高温、多湿条件下にさらされますと往々、発芽力の低下を来すことがあります。出来るだけ、冷所に乾燥状態に保存して下さい。二八〜三〇度の気温下で貯蔵した種子の発芽が湿度によってこんなに発芽率に差があります。(供試品オーチャードグラス)

七月	湿度六六%	湿度八一%	湿度九二%
八月	六六	八一	九二
九月	六六	八一	九二
十月	六六	八一	九二
十一月	六六	八一	九二
十二月	六六	八一	九二
一月	六六	八一	九二
二月	六六	八一	九二
三月	六六	八一	九二
四月	六六	八一	九二
五月	六六	八一	九二
六月	六六	八一	九二

